

令和4年度 奥越特別支援学校 学校関係者評価書

- (問) ・学校評価書の成果と課題が適切かどうか。
・成果と課題を踏まえた今後の改善策・向上策が適切か。
・その他

(意見を聞いた方)

教育関係者代表、福祉関係者代表、事業所代表、昭和町区長代表、PTA役員

(意見欄)

(1) 目標に対する成果および結果の分析について

○教育課程・学習支援・交流

・コロナ禍の中で、少しずつではあるが、地域の人材やICT機器等を活用しながら、地域に開かれた教育活動が各学部で実践できてよかったと思う。

・アンケート結果より、子どもたちが学校生活全般に満足していることが分かる。居住地交流、学校間交流も実施できてよかったと思うが、保護者への発信方法等を工夫する必要がある。

・奥越地区の福祉施設で就労されている、外国人介護職員の方々との交流も新たな取り組みの一つとして考えてみてはどうか。

○生徒支援

・十分な感染症対策を行いながら、保護者が子どもたちの活動の様子を見る機会を従来の学校行事の中で確保することにより、家庭との連携を深めていくことを今後も続けてほしい。

○保護者支援

・余暇活動的な行事に比べ、講演会などへの参加者が少ないようなので、実施内容や開催日の検討が必要だと思う。

○安全管理

・感染症対策について、学校の方針を早目に検討し新年度から施行していくのがよいと思う。

・想定を超える災害への対策も考えた避難訓練・引き渡し訓練も実施していくとよいと思う。

・マニュアルを基本に、シナリオをつくらない、その場の判断重視で行う避難訓練を実施するとよいと思う。

○進路支援

・引き続き、現場実習での評価を保護者や生徒本人にも伝え、一人一人に合った進路支援をお願いしたい。

(2) 全体(総括)

・全体を通じて目標は達成されている。

・コロナ感染症等を踏まえて、徐々にできる範囲で子どもたちが明るく伸び伸びと学校生活を送れるよう取り組んでいただきたい。

・コロナ禍で子どもも大人もリモートによる授業や行事、会議等への参加にも慣れたと思うので、今後も有効な交流手段として活用できると思います。

・10年間で育てた力を今後に生かしながら、新しい奥越特別支援学校を作っていただくことを期待しています。

(学校関係者評価を踏まえた今後について)

・コロナ禍における今年度の教育活動の成果と課題について、評価と令和5年度に向けたご意見をいただくことができた。再度、改善点を確認し、これまで取り組んできたことと新しく取り組むことの精査を行いながら家庭や地域との連携を図り、子どもたちの安心安全を第一に充実した学校生活を送れるよう取り組んでいきたい。